

演題 42. 当院における日・当直帯の一般検査

○安藤 正 菅野良則 多田隆宏 内海 寛 中野端秋
市原文雄（東邦大学医療センター佐倉病院 MCM
検査室）渡邊 仁（臨床検査部）

当院臨床検査部は、検体検査（血液、凝固、生化学、免疫、一般、細菌の一部）を三菱化学メディエンスの10人で、日・当直帯の検査は日勤帯と同じ内容を現在7人で対応している。一般検査は尿定性、尿沈渣、髄液、胸水、腹水検査を実施している。尿定性は自動分析装置で、尿沈渣は目視法で行っており、髄液検査は、PH、比重、細胞数、細胞分類、糖、蛋白、ケール、LDHを測定している。胸水、腹水検査は髄液検査項目に沈渣が加わる。

今回、日・当直帯における技師の不安、問題点を洗い出し、技師間差を失くし、更なる統一化、レベルアップする事を目的とし、アンケート形式で意識調査を実施した。その集計結果を検討し、日・当直帯の問題、不安な点、今後の課題などについて報告する。

043-463-0361